

1・本園の教育目標

幼児一人ひとりの可能性を広げるために、幼児の主体的な遊びを十分に確保し、自発的に遊べる保育環境の中で、友だちどうしのかかわりを大切にした教育を目標としている。また「食育」として、食べることは生きていく上での最も大切なことと位置づけ、様々な取り組みをしています。幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友だちと十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2・本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・園児が主体性をもって活動出来ているか保育内容を再検討する。
- ・コロナ禍での保育の在り方・行事の取り組み等を検討する。

3・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況と今後の課題
保育の計画性について	保育計画をより具体化し、無理のない時間配分で保育を進めて行くよう心掛けた。
保育のあり方、 幼児への対応について	コロナ禍での安全対策を十分に行い、充実した園生活がおくれる様、知恵と工夫を凝らした。
保護者への対応について	保護者が不安にならない様、情報公開をこまめに行い、工夫をこらして園の生活の見える化を行った。
開かれた幼稚園づくり について	コロナ禍であるので、思うようには園開放が出来なかったが、安全に参加していただける様人数制限等の協力を依頼した。
研修と研究について	WEB研修などを活用して、保育者が安心して研修に望めるように工夫した。

4・学校評価の具体的な目標や計画の総合的な結果評価

コロナ禍ではあったが、安心・安全の中で保育を進めて行くことができ、保育の質の向上につなげる事ができた。

5・学校関係者評価

今年度の取り組みについては、良好な運営状態であり、自己評価も積極的に行っているとの意見を頂いた。